

ひょうごの食研究会の概要

1 会 員

食と健康に関心のある農家・農業団体・大学教官・消費者（コープこうべ等生活協同組合員・一般消費者）・学校給食関係者・家庭科教諭・養護教諭・栄養士等保健関係者・医師・食の研究者・県の農政環境部、健康福祉部・教育委員会の有志等14団体と120人の個人会員で構成しています。

2 結成の動機

91年10月に食に関する関係機関が、現在の日本の食（供給・食生活・健康・食文化）について、シンポジウムを開催するため実行委員会を結成し、92年3月に「つくる・たべる・そだてる」をテーマに「第1回ひょうごの食シンポジウム」を開催し、500人を越す参加者を得ました。

このシンポジウムをきっかけに、今後も、生産・消費・健康・食文化を結ぶシンポジウム等を開催してほしいとの要望があり、92年7月に「ひょうごの食研究会」を結成いたしました。

3 目 的

食に関心のある生産から消費に至る様々の分野の方が一堂に会し、生産・消費・教育・健康・文化について、共に研究し、意見を出し合い、食に関して広い視野での情報を交換し、それぞれの活動の場で、それぞれが活用することを目的とした緩やかなつながりを目的としています。

4 役員

会 長 保田 茂（神戸大学名誉教授（農業経営））

副会長 村中 尚子（神戸市生活指導研究会会長）、松田 静（兵庫県生活研究グループ連絡協議会副会長）

幹事長 武 正興（西宮市）

幹 事 コープこうべ、兵庫県生活研究グループ連絡協議会、兵庫県女性農漁業士会、兵庫県栄養士会、栄養医学協会、神戸市生活指導研究会、兵庫県有機農業研究会HOAS、歯科医師、県関係部局職員、（一社）農山漁村文化協会

顧 問 高山 敏弘（神戸大学名誉教授（農業経営））

5 主な活動

ア 総会と第1回研究会

イ 第2回研究会

ウ ひょうごの食シンポジウム

6 活動実績

毎年、5のとおり、3回の研究会等を開催し、農漁業問題と食生活と健康を関連付けるテーマを中心に講演、現地活動報告、意見交換を実施しています。特に自らの専門分野以外のことを学び、物事を考えるにあたり広い視野（生産者の立場と消費者の立場を互いに理解しあう視野）を持つこと目指し、得た知識を各人の仕事、暮らしの中で生かしていただけることを期待し、研究会等を積み重ねております。

研究会等で取り上げた課題（1992/4～2024/3） 計146回

内容の分類	開催回数	内容の分類	開催回数
農業と食料問題	23	地産地消と食育	11
食品の安全性・食品表示	15	食生活の現状と課題	9
輸入食料品	1	食文化	5
海外の農業	1	学校給食の現状と課題	2
伝統野菜・種子の保存	5	育児と食べもの	3
漁業の現状と課題	9	健康問題・子どもの健康	24
農業と環境・震災と農業	6	豊かな暮らし	5
有機農業・新規就農等農業の実践	8	加工食品の生産	4
生産者(農村)と消費者(都市)の交流	12	森林の現状と課題	1
地球環境の問題	1	震災と食	1